

令和7年4月16日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。また、【 】内の数値は左側が3月下旬～4月上旬の発生予察調査のデータ、右側が平年値(過去10年の平均値)を示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

また、下表の病害虫を防除する場合は、「千葉県総合防除計画」の該当ページ(※)の「総合防除の内容」を参照すること。

[千葉県総合防除計画（令和6年3月版）](#)



作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (3月下旬～4月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
イネ	イネミズゾウムシ	やや少	2月畦畔0.25㎡土壤中成虫数 : やや少【0.09頭/1.08頭】(-)	19
	ヒメトビウンカ	やや少	2月畦畔3㎡吸い取り成幼虫数 : やや少【0.21頭/2.21頭】(-)	21
	イネドロオイムシ	並	前年6月の成幼虫蛹寄生株率: 並【5.66%/4.32%】	19
	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)	並	冬季気温(12月～2月の気象庁アメダス千葉毎正時データの平均値): 並	19
冬春トマト	うどんこ病	やや少	発病株率: やや少【0.00%/2.67%】(-) 気象予報: 日照時間並	30
	灰色かび病	やや少	発病株率: やや少【3.20%/14.92%】(-) 気象予報: 日照時間並	31
	コナジラミ類	並	成虫寄生株率 オンシツコナジラミ: 並【0.00%/0.92%】 タバココナジラミ: 並【0.00%/0.20%】 3月黄色粘着トラップ誘殺数: 並【1.78頭/3.84頭】 気象予報: 気温高(+)日照時間並	33
スイカ	つる枯病	並	発病葉率: 並【0.00%/0.00%】 気象予報: 気温高(+)降水量並	-
	ハダニ類	並	寄生葉率: やや少【0.00%/0.16%】(-) 気象予報: 気温高(+)降水量並	-

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (3月下旬～4月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
温州ミカン	そうか病	多	発病葉率：多【2.60%/0.30%】(+) 気象予報：気温高(+)降水量並	26
	ミカンハダニ	並	成虫寄生葉率：並【1.80%/5.02%】 気象予報：気温高(+)降水量並	28
ビワ	果樹カメムシ類	並	チャバネアオカメムシ早期発生予測モデルによる発生量： 中程度	28
カーネーション	アザミウマ類	並	被害株率：やや少【2.40%/10.56%】(-) 成幼虫寄生株率：並【0.80%/0.96%】 3月黄色粘着トラップ誘殺数：少【0.60頭/4.72頭】(-) 気象予報：気温高(+)日照時間並	-
	ハダニ類	並	成虫寄生株率：並【0.00%/1.84%】 気象予報：気温高(+)日照時間並	-
野菜・花き共通	アブラムシ類	多	成幼虫寄生株率 春キャベツ：多【8.80%/1.95%】(+) 冬春トマト：やや多【0.40%/0.08%】(+) カーネーション：多【0.80%/0.08%】(+) 成幼虫寄生葉率(スイカ)：多【1.00%/0.20%】(+) 3月黄色粘着トラップ誘殺数 冬春トマト：並【0.00頭/0.13頭】 カーネーション：やや多【10.80頭/5.40頭】(+) 気象予報：気温高(+)降水量並	

* 黄色粘着トラップ誘殺数：438cm²の黄色粘着トラップに30日間に誘殺された個体数

1 防除に関する措置(共通)

- (1) 病害虫は早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
- (2) 発病株及び罹病部位は、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (3) 害虫の薬剤抵抗性の発達や耐性菌の発生を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 病害虫の発生を予防するため、温湿度管理、防虫網の設置、周辺雑草の除草、輪作や緑肥作物の栽培等の耕種的防除及び物理的防除に努める。

2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項

- (1) スクミリンゴガイ(イネ)

あなたの田んぼは平らですか？均平からの総合防除(令和7年3月作成)も参照する。
- (2) コナジラミ類(冬春トマト)

夏秋作型のウイルス病伝染源となる、ウイルス保毒虫を施設外へ出さないため、栽培終了後は施設を密閉してから一斉に植物を枯らす。
- (3) つる枯病(スイカ)

ほ場の排水を良くする。多湿を防ぐため、トンネルの換気を適切に行う。



Ⅱ これから注意を要する病害虫

ナシヒメシンクイ

ナシヒメシンクイは、7月以降に発生する第2世代以降の幼虫がナシの果実内に食入・加害し、減収をもたらす。越冬世代成虫は4月に発生し、世代を重ねるごとに密度が高くなることから、発生初期世代の防除が必要である。

前年のフェロモントラップの1日当たり誘殺数（県内3地点のナシ園での平均値）は、1年を通して平年を上回る傾向にあったことから（図）、越冬世代成虫の発生が多いことが予想される。被害につながる第2世代の発生を減らすため、発生初期世代からの防除が必要である。

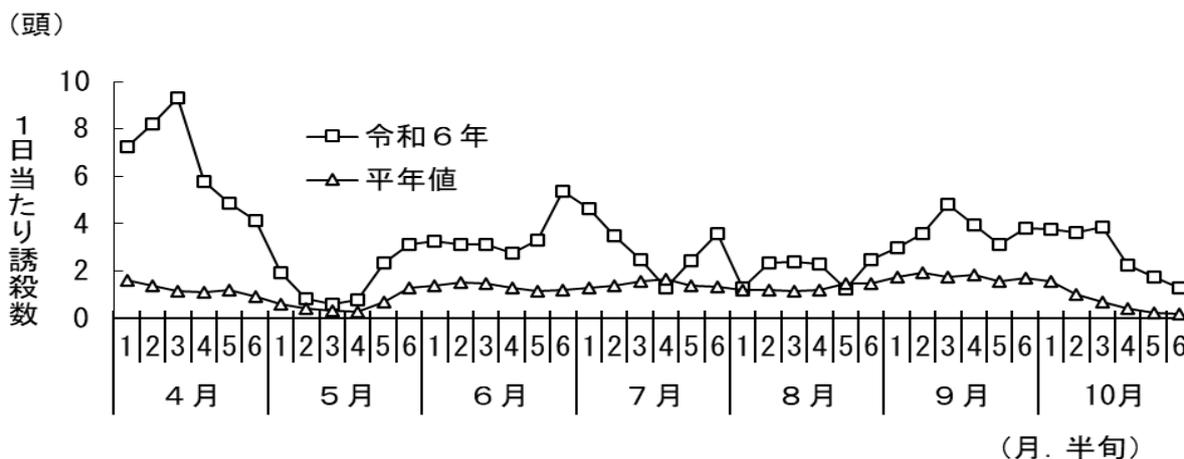


図 フェロモントラップにおける令和6年のナシヒメシンクイ誘殺数の推移（4～10月）

<防除対策>

- (1) 新梢の芯折れなどを見つけた場合、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (2) 第1世代成虫発生初期から交信かく乱剤を使用し、次世代の幼虫の発生を抑制する。なお、広範囲の地域で使用すると効果が高くなる。
- (3) 以下の表を参考に、適切に防除する。

表 ナシにおけるシンクイムシ類の防除

時期	IRACコード※1	薬剤名または防除法	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数※2
5月上旬	1 A	オリオン水和剤40	1,000倍	収穫3日前まで	2回以内
5月上旬		コンフューザーN	200本/10a※3	成虫発生初期から終期	
5月下旬	4 A	モスピラン顆粒水溶剤※4	2,000倍	収穫前日まで	3回以内

※1 IRACコードとは、殺虫剤の作用の仕組みの分類を表すものである。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一コードの薬剤を連用しない。

※2 薬剤名が異なっても同じ成分を含む薬剤があるので、散布前に確認し、同じ成分がある場合、合計使用回数が制限を超えないように注意する。

※3 2回に分けて設置する場合には5月上旬に100本/10aを設置し、7月中旬に2回目分の100本/10aを設置する。

※4 モスピラン顆粒水溶剤は、新高、長十郎の展開葉に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

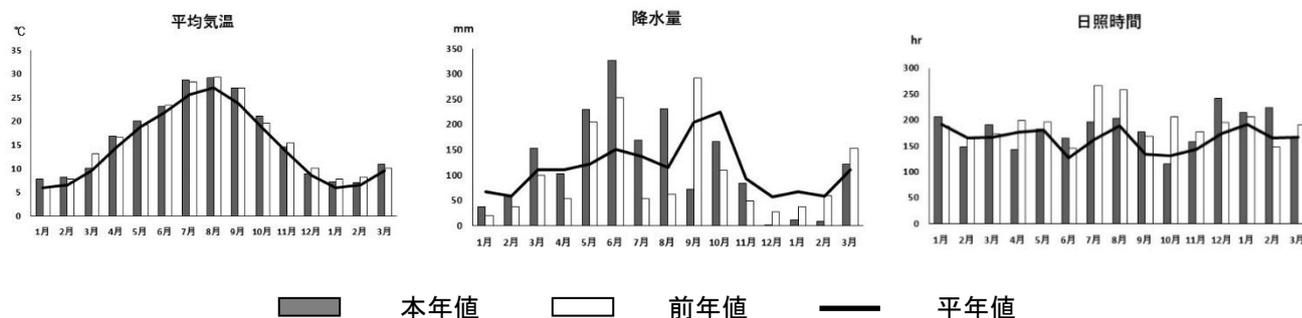
注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録情報を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

Ⅲ その他の情報

令和6年度における農作物の主要病害虫の発生状況について

○気象概況（千葉市）

		気温(°C)			降水量(mm、%)			日照時間(hr、%)		
		本年	平年	差	本年	平年	比	本年	平年	比
2024	1月	7.9	6.1	1.8	38	68	56	207	192	108
	2月	8.3	6.6	1.7	60	59	101	148	165	90
	3月	10.1	9.6	0.5	154	111	138	191	168	114
	4月	17.0	14.5	2.5	103	110	93	144	177	81
	5月	20.1	18.9	1.2	231	122	188	183	181	101
	6月	23.2	21.9	1.3	327	151	216	165	127	130
	7月	28.8	25.7	3.1	169	137	124	197	163	121
	8月	29.2	27.1	2.1	231	116	200	203	189	107
	9月	27.0	23.8	3.2	72	205	35	178	135	132
	10月	21.2	18.6	2.6	166	226	74	116	132	88
	11月	14.6	13.4	1.2	85	94	90	158	144	110
	12月	9.0	8.6	0.4	1	57	1	242	175	138
2025	1月	7.3	6.1	1.2	13	68	19	215	192	112
	2月	7.1	6.6	0.5	9	59	15	224	165	136
	3月	11.0	9.6	1.4	122	111	109	168	168	100



2024年1月から2025年3月までの気象概況（アメダス千葉、銚子地方気象台提供）

気温：年間を通して、平年に比べ高かった。特に、7月と10月は観測史上最も暑い年となった。

降水量：5月から8月にかけて、平年をかなり上回る降水となった。9月以降平年より少なくなった。特に、12月から2月は平年の2割未満の降水となった。

日照時間：6、7、9、12、2月は特に平年より多くなった。

参考：梅雨入り：6月21日頃（平年6月7日頃） 梅雨明け：7月18日頃（平年7月19日頃）

○ 病害虫発生状況(巡回調査・フェロモントラップ調査)

1 イネ(4～8月上旬調査)

病害虫名	調査項目	育苗期	5月7日 基準日	6月4日 基準日	7月2日 基準日	7月16日 基準日	7月30日 基準日	収穫期
いもち病	発病苗箱率	並						
	葉いもち発病株率			並	並			
	葉いもち上位2葉発病葉率						やや少	
	穂いもち発病株率						並	少
ばか苗病	発病苗箱率	並						
スクミリンゴガイ	被害株率		多	多				
	貝密度(/m ²)		並	やや多				
大型斑点米 カメムシ類	捕獲成幼虫数				やや多	並	多	やや多

2 普通作物

(1) サツマイモ(6～10月上旬調査)

病害虫名	調査項目	6月	7月	8月	9月	10月
ハスモンヨトウ	寄生幼虫数	並	並	並	多	並
ナカヅロシタバ	寄生幼虫数	やや多	並	やや少	並	並
イモキバガ	被害葉率	並	少	少	並	並
イモキバガ以外	被害葉率	やや多	多	多	並	並

(2) ラッカセイ(7～9月上旬調査)

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月
茎腐病	発病株率	並	やや少	やや少
白絹病	発病株率	やや多	やや多	やや多
ヒョウタンゾウムシ類	被害株率	やや多	多	やや多

3 野菜

(1) スイカ(トンネル栽培)(4～6月上旬調査)

病害虫名	調査項目	4月	5月	6月
うどんこ病	発病葉率	並	並	やや多
アブラムシ類	成幼虫寄生葉率	並	やや多	並
ハダニ類	成虫寄生葉率	並	並	並

(2) サトイモ(6～9月上旬調査)

病害虫名	調査項目	6月	7月	8月	9月
汚斑病	発病葉率	並	並	やや少	やや少
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率	並	多	多	多
ハダニ類	成虫寄生葉率	多	多	並	やや少

(3) 夏秋トマト（7～10月下旬調査）

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月	10月
萎凋症	萎凋株率	並	やや少	やや少	並
すすかび病	発病株率	並	多	並	やや多
灰色かび病	発病株率	並	並	やや少	並
灰色かび病	発病果率	並	並	並	やや少
黄化葉巻病	発病株率	やや多	多	多	多
うどんこ病	発病株率	並	並	並	やや少
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	並	やや少	やや少	やや少
タバココナジラミ	成虫寄生株率	やや多	多	多	やや多
ハモグリバエ類	幼虫寄生株率	並	やや少	並	並

(4) 冬春トマト（12～4月上旬調査）

病害虫名	調査項目	12月	1月	2月	3月	4月
うどんこ病	発病株率	並	やや少	並	やや少	やや少
灰色かび病	発病株率	並	並	少	やや少	やや少
灰色かび病	発病果率	並	並	並	やや少	やや少
黄化葉巻病	発病株率	やや多	やや多	並	やや多	並
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	並	並	並	並	並
タバココナジラミ	成虫寄生株率	やや多	並	並	並	並
ハスモンヨトウ	被害株率	多	並	並	並	並
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並	やや多

(5) 秋冬ネギ（7～12月上旬調査）

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さび病	発病度	並	並	並	並	並	並
べと病	発病株率	並	並	並	並	並	並
アブラムシ類	寄生株率	並	並	並	並	やや少	やや少
ハスモンヨトウ	被害株率	並	並	並	並	並	並
シロイチモジヨトウ	被害株率	多	多	多	多	多	多
ネギコガ	被害株率	並	並	並	やや多	並	並
ネギハモグリバエ	被害度	やや少	少	少	やや少	並	並

(6) 冬レタス（11～2月上旬調査）

病害虫名	調査項目	11月	12月	1月	2月
菌核病	発病株率	並	並	やや少	やや少
オオタバコガ	幼虫寄生株率	並	並	並	並

(7) イチゴ（10～3月上旬調査）

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
うどんこ病	発病株率	並	やや少	並	並	やや少	並
灰色かび病	発病株率	並	並	並	並	やや少	やや少
アザミウマ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並	やや多	やや多
ハスモンヨトウ	被害株率	多	やや多	多	多	多	多
コナジラミ類	寄生株率	やや少	並	並	やや少	少	少

(8) 冬キャベツ (10~2月上旬調査)

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月
菌核病	発病株率	並	並	並	並	やや多
黒腐病	発病度	並	多	多	多	やや多
腐敗病	発病株率	並	並	並	並	並
ヨトウガ	卵幼虫寄生株率	並	並	並	並	並

(9) 春キャベツ (12~4月上旬調査)

病害虫名	調査項目	12月	1月	2月	3月	4月
タマナギンウワバ	寄生幼虫数/10株	並	並	並	並	並

(10) 冬春キュウリ (11~2月上旬調査)

病害虫名	調査項目	11月	12月	1月	2月
うどんこ病	発病葉率	少	少	やや少	少
べと病	発病葉率	やや少	少	少	並
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	少	やや少	やや少	少
タバココナジラミ	成虫寄生株率	やや多	多	多	多
ハモグリバエ類	幼虫寄生株率	やや多	やや少	並	並

(11) チョウ目害虫 (フェロモントラップ調査)

病害虫名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ハスモンヨトウ		やや多	やや多	並	やや多	やや多	並	やや多	多			
コナガ	やや少	並	やや少	少	少	やや少	少	少	並	やや少	やや多	多
シロイチモジヨトウ		多	多	多	多	多	多	多	やや多			

4 果樹

(1) ナシ (4~9月下旬調査)

病害虫名	調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒星病	発病果率	並	並	やや多	並	並	
炭そ病	発病新梢率	並	並	並	並	並	並
シンクイムシ類	被害果率	並	並	並	やや多	多	
ハマキムシ類	被害果率		多	やや多	並	やや多	
ハダニ類	寄生葉率	並	並	やや多	多	やや多	並
吸ガ類	被害果率		並	並	並	並	

(2) カンキツ (温州ミカン) (3~11月下旬調査)

病害虫名	調査項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
かいよう病	発病葉率	並	並	並	並	並				
かいよう病	発病果率				並	並	並	並	並	
そうか病	発病葉率	多	多	多	多	並				
そうか病	発病果率				多	並	並	並	やや少	
黒点病	発病果率				並	並	やや少	少	少	
ミカンハダニ	成虫寄生葉率	やや多	やや多	やや多	並	並	やや多	多	やや多	やや多
ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率	並	並	やや多	やや多	並	やや多	やや多	並	

(3) ビワ（3～5、9～10月下旬調査）

病害虫名	調査項目	3月	4月	5月	9月	10月
灰斑病	発病葉率	並	やや多	やや少	やや多	やや少
アブラムシ類	成幼虫寄生葉率	並	並	並	並	並
カミキリムシ類	被害穴数	並	並	やや少	並	並
カメムシ類	寄生果率		多	並		

(4) 果樹共通：果樹カメムシ類（フェロモントラップ調査）

病害虫名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
カメムシ類	多	多	やや多	やや多	多	やや多	やや多
シンクイムシ類	多	多	多	多	やや多	やや多	多
ハマキムシ類	やや多	並	多	並	並	並	多

5 花き

(1) カーネーション（9～3月下旬調査）

病害虫名	調査項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
立枯病	発病株率	やや多	やや少	並	並	やや少	やや少	やや少
萎凋症	発病株率	並	並	並	多	並	やや多	並
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並	並	やや多	多
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率	並	並	並	並	並	並	並

(2) ストック（10～2月下旬調査）

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月
(施設)コナガ	幼虫寄生株率	並	並	やや少	並	並
(露地)コナガ	幼虫寄生株率	並	やや少	やや少	やや少	並

● 特殊報、注意報、発生情報の発表状況

1 特殊報

- 令和6年8月23日 第1号 スイカ退緑えそ病の発生について
- 令和6年10月17日 第2号 モモヒメヨコバイの発生について
- 令和6年10月17日 第3号 メロン退緑黄化病の発生について
- 令和6年12月17日 第4号 トマトフザリウム株腐病の発生について

2 注意報

- 令和6年5月10日 第1号 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）越冬後成虫多発生のおそれ
- 令和6年7月10日 第2号 大型斑点米カメムシ類、カスミカメムシ類による斑点米発生に注意
- 令和6年7月17日 第3号 オオタバコガの多発生に注意
- 令和6年7月17日 第4号 シロイチモジヨトウによるネギの食害に注意
- 令和6年9月18日 第5号 トマト黄化葉巻病の発生に注意

3 発生情報

- 令和6年8月7日 第1号 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）の発生状況について
- 令和6年11月19日 第2号 キャベツ黒腐病の発生状況について

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稲：2月中旬、野菜：4月上旬、果樹・花き：3月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (県内全域)	イネミズゾウムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.09	1.08	0.01	前年7月調査 前年6月調査 前年6月調査 前年6月調査
	イネゾウムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.10	0.18	0.12	
	イネクロカメムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.00	0.06	0.01	
		25株当たり寄生成幼虫数	0.99	0.55	0.17	
	ヒメトビウンカ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	0.21	2.21	4.74	
	ツマグロヨコバイ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	0.03	1.54	2.23	
	イネドロオイムシ	25株当たり寄生成幼虫蛹数	5.66	4.32	2.34	
	スクミリンゴガイ	被害株率(%) 1㎡当たり貝数	5.03 0.44	1.53 0.28	2.57 0.42	
冬春トマト (海匠、長生)	うどんこ病	発病株率(%)	0.00	2.67	0.00	
	灰色かび病	発病株率(%)	3.20	14.92	14.80	
		発病果率(%)	0.04	0.27	0.08	
		果実発病度	0.30	1.58	0.40	
	すすかび病	発病株率(%)	0.00	0.22	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率(%)	0.40	0.08	0.00	
		黄色粘着トラップ誘殺数	0.00	0.13	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率(%)	0.00	0.92	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率(%)	0.00	0.20	0.80	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	1.78	3.84	2.42	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.00	0.00	
ハモグリバエ類	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.36	0.00		
アザミウマ類	成幼虫寄生株率(%)	0.00	0.04	0.00		
春キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率(%)	0.00	1.98	4.00	
	灰色かび病	発病株率(%)	0.00	1.92	0.80	
	黒腐病	発病度	0.00	0.10	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率(%)	8.80	1.95	0.80	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.21	0.00	
トンネルスイカ (印旛、山武)	つる枯病	発病葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	1.00	0.20	0.20	
	ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	0.00	0.16	0.20	
ハウススイカ (印旛、山武)	つる枯病	発病葉率(%)	0.00		0.00	2021年～ " "
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	2.00		0.00	
	ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	0.00		0.40	
温州ミカン (安房)	そうか病	発病葉率(%)	2.60	0.30	1.00	
	かいよう病	発病葉率(%)	0.00	0.12	0.00	
	ミカンハダニ	成虫寄生葉率(%)	1.80	5.02	7.20	
ビワ (安房)	灰斑病	発病葉率(%)	1.75	3.15	2.75	
	アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
	カミキリムシ類	被害穴数	0.00	0.08	0.00	
カーネーション (安房)	萎凋症	発病株率(%)	0.00	0.68	0.80	
	立枯病	発病株率(%)	0.00	0.80	0.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率(%)	0.80	0.96	2.40	
		被害株率(%)	2.40	10.56	12.80	
		黄色粘着トラップ誘殺数	0.60	4.72	3.56	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率(%)	0.80	0.08	0.00	
		黄色粘着トラップ誘殺数	10.80	5.40	0.75	
	ハダニ類	成虫寄生株率(%)	0.00	1.84	0.00	

トラップ月間誘殺数（3月）

種類	害虫名	トラップ設置場所	誘殺数（頭/日）			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠	0.35	0.65	0.19	
	ハスモンヨトウ	海匠	0.19	0.05	0.05	

○気象予報

4月10日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

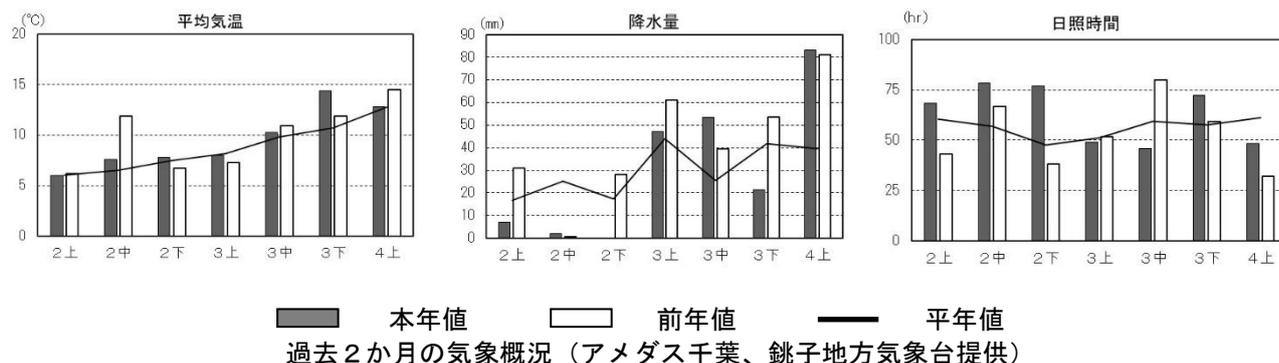
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	20	30	50
降水量	40	30	30
日照時間	30	40	30

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(4月12日～5月11日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	16.2	15.3	16.1
降水量(mm)	100.6	116.2	145.3
日照時間(hr)	176.0	182.1	179.1



農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は5月14日です。
なお、注意報等臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

